

# 東京教区時報

第1141号  
2009年11月1日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇11月の代祷・信施奉献先  
▽笹島キリスト教連絡会のため  
▽滝乃川学園のため▽障害者週間のため(8〜14日)▽人権活動を支える主日(11月最終主日11・29)  
▽11月聖路加国際病院礼拝堂  
《夕の祈り》 4日(水) 18時  
半開演のオルガン演奏に引き続き19時から。演奏者⇒高橋博子。入場無料(会場献金)。  
▽聖マーガレット教会《マーガレットコンサート》 8日(日) 14時。演奏⇒伊藤純子(オルガン)。入場無料(会場献金)。  
TEL 03(33334)2812。  
▽立教女学院シニア藤の会講演会「いのちの花を咲かせよう」おなかの赤ちゃんは社会の大切なメンバーです」 8日

## 今週・来週の予定

11月1日～14日

- 1(日) 諸聖徒日  
主教巡回 東京諸聖徒教会
- 2(月) 諸魂日 教区墓地礼拝  
教役者待遇調査委員会
- 3(火・休) 教区墓地礼拝
- 5(木) 月島準備室
- 6(金) 竹内司祭信徒講座
- 7(土) エルサレム教区協働委員会  
将来計画担当者意見交換会  
(アンデレホール)
- 8(日) 聖霊降臨後第23主日  
主教巡回 三光教会
- 9(月) 正義と平和協議会運営委員会
- 10(火) 銀座朝拝会  
財政委員会  
礼拝音楽委員会
- 11(水) 人権委員会 (聖バルナバ)
- 12(木) 人権委:シンポジウム  
聖職養成委員会
- 13(金) 広報委員会  
IT～特別委員会

(日) 14時、同院聖マリア礼拝堂。講師⇒遠藤順子(生命尊重センター・NPO法人エンブリオ基金センター理事長・故遠藤周作夫人)。千円。照会TEL 03(6407)2333・生命尊重センター。駐車は要申込。  
▽立教女学院聖マーガレット  
礼拝堂・聖マーガレット教会合同礼拝 「聖マーガレットの日に近い15日(日) 10時半、同院礼拝堂(同教会誕生の地)で行う同教会創立記念礼拝。説教⇒佐々木道人司祭(同院チャプレン)、奏楽・指揮⇒岩崎真美子、合同聖歌隊の奉唱。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

練馬駅に到着しようとした電車がいきなりの急ブレーキ。ただ、通勤ラッシュ前の時間帯で、大した混乱もなく、車内はすぐに平静さを取り戻しました。

ます。人身事故の話聞くたびに思い起こされるのが、年間自殺者3万人のペーすが今年に入っても落ちていないこと。「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった」(創世記1・31)。神様は存在するすべてのものを良しとされ、愛してくださいることを覚えたいものです。

乱暴な運転と思う間もなく車内を流れた案内放送。人身事故が発生し急停車したことへの謝罪と、乗り合わせた医師や看護師への協力要請でした。車内は人身事故との案内に一瞬、緊張した空気が張りつめました。そうこうするうちに車外が急に騒がしくなり

《み手のなかで》

## 副都心線

二 傍島修  
今日の人身事故が飛び込みかどうかは知る由もありませんが、シンドイ気持ちで電車をおりました。

ました。窓を覗くと、自分の席は丁度ホームの端で、駅員や救急隊員が動き回るのが見えました。

その時、混乱するホームに居いた線路下からの救急隊員の大きな声。「動いています」。

線で、人身事故が多くなっている気がし

思わず神様に感謝の祈りを捧げた一瞬でした。

(清瀬聖母教会信徒)

▽信仰と生活委員会11月信徒講座 竹内謙太郎司祭による「聖公会の礼拝の歴史と発展」2回講座Ⅱ礼拝共同体として教会の礼拝の歴史とこれからの宣教にふさわしい礼拝を学ぶ。①6日Ⅱ「ローマからカンタベリーへ礼拝」②20日Ⅱ「克蘭マー以後の英国の礼拝」、いずれも金曜、19時～21時、教区会館3階。参加費Ⅱ各500円。照会は宣教主事宛。

▽「リグリマ」報告会 正義と平和協議会メンバーリグリマ・ジャパン主催。バンングラデシユの少数民族ガロの女性たちを支援する活動をしている同会代表・上沢伸子による現地訪問報告会。7日(土) 14時～15時半、神愛教会。照会先Ⅱ042(389) 2516(同会代表)。

#### ▽人権委員会シンポジウム

「外国人にとって住みやすい国は、日本人にとっても住みやすい」入管法改定について学ぶ、12日(木) 19時～21時、教区会館3階。講師Ⅱ朴美賢司祭(聖愛教会主日勤務)・柳時京司祭(立教大学チャプレン)・李民洙司祭(渋谷聖ミカエル教会牧師)。入場無料。照会Ⅱ090(9649) 0392(打田)。

#### ▽NCC在日外国人の人権委員会講演会

「『難民になれない難民』く民主党は在日外国人の人権問題をどう前進させるか」Ⅱ講師・今野東参議院議員。14日(土) 13時半～15時、西早稲田キリスト教会館4階会議室。照会先Ⅱ042(324) 2860(聖公会担当委員・関澄子)。

#### 《今、この教会では》

##### 練馬聖ガブリエル教会

当教会は2005年に作成したビジョンの実現を目指しています。今年から第2段階として新しい部会が活動を開始しました。その一つ「開かれた教会」部会が、新たな試み「教会文化祭」として春は手芸、秋は写真の展示を行いました。また、市民コンサートやフォーレを歌う会の活動も定着してきました。課題はせっかく出来た第2の輪に対して教会員の関心が薄いように感じることです。教会は油断すると内向きになりがちですが、社会のために教会が出来ることを探しながら、いろいろな形で開き続けることが大切だと考えます。(高橋教之)

#### 【クローズアップ】29

##### ふれあいキャンプ

日本聖公会東京教区「障がい者」関連活動連絡会の年間3大行事の一つである、「ふれあいキャンプ」が例年通り、10月11日・12日に、埼玉県武蔵嵐山駅近くにある国立女性教育会館で開催されました。2歳から81歳の老若男女38人が参加されました。貸切バス、自家用車あるいは電車を使って午後4時30分、現地に集合。期待と不安が混じる1泊2日のキャンプの始まりです。

今年(2日目)は、メルヘン・コイノニアの方々のご指導による「クッキー作り」と、大澤和子さんご指導によるミュージックベル

の練習がメインプログラムです。

その他には自由散策をされる方、近所の日帰り温泉に行かれる方々など、参加者全員の方々に自由にしていただくことがこのキャンプのテーマです。オリエンテーション(キャンプ説明会)など、開始時間があってもなきがごとしで、ゆつくりとしたペースで、「障がい者」の方々の都合に合わせたキャンプが進行していきます。プログラムに追われ、参加したお一人お一人と話したことがないというようなことがないように、スタッフは心がけています。

なにかまとまりのない団体みたいですが、キャンプ最後のプログラム「ふりかえり」では、練習したミュージックベルの演奏に耳を傾け、焼きあがったクッキーがお

いしかったことなど、このキャンプで感じたこと思ったことなどをお一人お一人に話していただくのですが、参加者皆さんが感動され、来年再会することを念じてお別れしています。

私も「障がい者」の方々にとって、この「生きづらい世の中」を私たちがどのようにサポートしていけるのか。大きな宿題をいただいて帰路につきました。

「障がい者」関連活動連絡会  
実務委員 半田秀行

#### ◇韓国ソウル教区2司祭が東京教区へ

管区の宣教協働者受入れ合意に基き、金大原(キム・デウォン)、池星熙(チ・ソンヒ)両司祭が9月から来日。現在、日本語学校へ通学中。